

# DeepIP : AI 搭載アシスタントによる特許出願の近代化

Gemini Deep Research

## 1. エグゼクティブサマリー

パリとニューヨークに拠点を置くフランス系アメリカのスタートアップ企業である DeepIP は、特許作成を支援するために設計された革新的な AI アシスタントを開発し、最近 1500 万ドルのシリーズ A 資金調達を完了しました<sup>1</sup>。この資金調達は、特許業界内の複雑で時代遅れなプロセスを変革する人工知能の可能性に対する認識の高まりを強調しています<sup>1</sup>。DeepIP が開発した AI ツールは、特許実務家が、広範な文書の要約、複雑な専門用語の簡略化、発明の新規な側面の強調、特許申請における潜在的な欠落の特定などの重要なタスクを実行するのを支援し、既存のワークフローにシームレスに統合されます<sup>1</sup>。本レポートでは、DeepIP、その技術、最近の資金調達ラウンド、競合状況、および特許業界における AI 導入の広範なトレンドについて詳細な分析を提供します。

## 2. DeepIP の会社概要 : 設立と事業内容

### 2.1 設立とリーダーシップ

DeepIP は、2024 年に CEO を務めるフランソワ＝グザヴィエ・ルドゥクと CTO を務めるエドゥアール・ダルシャンボーによって設立されました<sup>1</sup>。両共同創設者は、AI スケールアップ企業である Kili Technology での以前のリーダーシップ経験から豊富な知識をもたらしています<sup>1</sup>。過去 5 年間で、ルドゥクとダルシャンボーは、エアバス、IBM、SAP などの著名な研究主導型組織向けに AI ソリューションを作成する上で重要な役割を果たしてきました<sup>1</sup>。この経歴は、人工知能に対する彼らの深い理解と、複雑なデータを信頼性の高い AI 搭載アシスタントに変える実績を示しています<sup>3</sup>。米国国防総省の要件を超える厳格なセキュリティ基準を満たす能力は、知的財産の機密性の高い分野において特に重要なデータ保護への基本的な取り組みを強調しています<sup>5</sup>。

### 2.2 事業内容とミッション

DeepIP の事業の中核は、現在煩雑な特許出願プロセスを近代化することを目的とした AI 搭載特許アシスタントの開発と提供を中心に展開しています<sup>1</sup>。同社の使命は、知的財産実務家をより日常的で時間のかかる業務から解放し、クライアントにより大きな戦略的価値を提供できるようにすることです<sup>1</sup>。DeepIP は、その主力製品を「初の次世代 AI 特許アシスタント」と位置づけており、既存のツールと比較して、より高度で信頼性の高いソリューションを提供することで、業界に新たな基準を設定する意欲を示しています<sup>1</sup>。

### 2.3 本社と拠点

DeepIP は、ニューヨーク市に北米本社、フランスのパリにヨーロッパ本社を置く二重本社体制で運営されています<sup>1</sup>。さらに詳しい情報によると、ニューヨーク州マンハッタンに本社事務所があります<sup>12</sup>。この戦略的な地理的拠点は、知的財産法サービスの主要市場である米国とヨーロッパの両方のクライアントにサービスを提供することを可能にしています<sup>2</sup>。

## 2.4 会社の沿革

当初「davinci」という名称で運営されていた同社は、2024年8月にリブランディングを行い、正式にDeepIPという名称を採用しました<sup>2</sup>。この変更は、知的財産ソリューションへの注力をより直接的に反映した、より強力なブランドアイデンティティを確立するための戦略的な動きであると考えられます。注目すべきことに、DeepIPは創業後わずか7ヶ月で7桁の年間経常収益（ARR）を達成するという目覚ましい初期の成功を収めています<sup>1</sup>。この驚異的な成長率は、同社のAI特許アシスタントが提供する効率化に対する強い製品市場適合性と高い需要を示しています。DeepIPのシリーズA資金調達を主導したResonanceのパートナーであるマキシム・ル・ダンテック氏は、この異例の速い成長を指摘し、同社が特許実務家にもたらす大きな価値提案を強調しました<sup>3</sup>。

## 3. DeepIP の AI 特許アシスタント：機能と特徴

### 3.1 主要機能

DeepIPのAI特許アシスタントは、特許準備、起草、審査を含む特許ライフサイクル全体を通じて知的財産専門家をサポートするように設計されています<sup>1</sup>。その設計の重要な側面は、Microsoft Wordのアドインとして直接統合されていることであり、弁護士は特許文書を作成する際によく使用する使い慣れた環境内でAIの機能を利用できます<sup>1</sup>。AIアシスタントの主要機能には、長くて複雑な文書を迅速に要約する機能、複雑な専門用語を簡略化して明確さを確保する機能、技術革新の新規で革新的な側面を強調する機能、特許草案における潜在的な欠落やギャップを特定する機能などがあります<sup>1</sup>。さらに、このツールは特許請求の範囲の代替構造を提案することができ、特許申請全体の品質と防御力を向上させる可能性があります<sup>1</sup>。

### 3.2 高度な機能

DeepIPのAIアシスタントは、その主要機能に加えて、特許プロセスをさらに効率化するために設計されたいくつかの高度な機能を備えています。注目すべき機能の1つは、過去の特許出願を分析する能力であり、それによって個々の特許実務家とそのクライアントの特定の書き方や好みを学習し、その後再現することができます<sup>1</sup>。これは、トーンの一貫性を維持し、クライアントがしばしば要求する特定の言い回し要件を遵守するために特

に価値があります。AI は、以前の申請から得られた洞察に基づいて、特許草案の改善を提案することもできます<sup>9</sup>。特許作成の初期段階では、このツールは特許請求の範囲の作成と発明の詳細な説明の開発を支援します<sup>14</sup>。さらに、DeepIP は、特許庁からの拒絶理由通知に対応する際、ユーザーが異議申し立ての文脈を理解し、明確で構造化された回答を作成するための提案を提供することで支援します<sup>14</sup>。視覚要素を含む申請の場合、AI は図面をインポートし、特許文書に組み込むための正確なテキスト記述を生成することさえできます<sup>14</sup>。

### 3.3 基盤となる技術とデータ

DeepIP の AI アシスタントの有効性は、サードパーティのデータソース、同社が開発した独自のモデル、および独自のデータセットへのアクセスを組み合わせた高度な技術によって支えられています<sup>1</sup>。この多面的なデータ統合アプローチは、AI のパフォーマンスを向上させ、AI のハルシネーションの発生を大幅に削減し、より信頼性の高い正確な出力を保証することを目的としています。このプラットフォームは、さまざまな機能を実行するために高度な AI モデルを活用しています<sup>11</sup>。その実用的な応用を示すように、DeepIP のシステムはすでに 8,500 件以上の特許出願の作成を支援しています<sup>1</sup>。AI の信頼性をさらに確保するために、DeepIP はモデルの定期的なテストと検証を実施し、不正確さを最小限に抑え、高いパフォーマンス基準を維持するために積極的に取り組んでいます<sup>4</sup>。

### 3.4 セキュリティとコンプライアンス

特許法で扱われる情報の機密性の高さを認識し、DeepIP はセキュリティとコンプライアンスを重視しています。このプラットフォームは、SOC 2 Type II、ISO 27001 などの高い業界標準に準拠し、一般データ保護規則（GDPR）に準拠しています<sup>2</sup>。ユーザーデータをさらに保護するために、DeepIP はゼロデータ保持ポリシーを採用しており、セッション終了後にユーザーデータが保存されることはありません<sup>5</sup>。さらに、同社はユーザーデータが保存されず、AI モデルの再トレーニングに使用されないことを明示的に述べており、プライバシーへの取り組みを強化しています<sup>17</sup>。プラットフォームのインフラストラクチャは、米国を拠点とする Microsoft Azure サーバー上に構築されており、安全で信頼性の高い運用環境を提供しています<sup>17</sup>。

## 4. シリーズ A 資金調達：詳細と影響

### 4.1 資金調達額と時期

2025 年 3 月、DeepIP は 1500 万ドルのシリーズ A 資金調達ラウンドを成功裏に完了しました<sup>1</sup>。この多額の資金調達は、DeepIP の革新的なアプローチと特許業界を破壊する可能性に対する投資コミュニティからの強い信頼の表れです。この発表のタイミングは、

同社の現在の勢いと、進化するリーガルテック業界における主要プレーヤーとしての地位を強調しています。

## 4.2 リード投資家と参加者

シリーズ A の資金調達ラウンドは、人工知能を専門とする投資会社である **Resonance** が主導しました<sup>1</sup>。Headline (Mistral AI を支援)、Serena Capital (Dataiku に投資)、Balderton Capital などの著名な投資家も参加しており、リーガルテック分野における AI の戦略的重要性と DeepIP の強い潜在力をさらに強調しています<sup>1</sup>。Resonance のマキシム・ル・ダンテック氏は、DeepIP の急速な成長を強調し、わずか7ヶ月で7桁のARRを達成した最速のスタートアップであると述べました。これは、同社が特許実務家にもたらす大きな生産性向上を証明するものです<sup>3</sup>。

## 4.3 資金の用途

DeepIP は、新たに確保した資金を米国とヨーロッパの両方での事業拡大に充て、IP サービスの主要市場への浸透をさらに図る予定です<sup>2</sup>。さらに、資金の大部分は、現在の生産性アシスタントの進化に充てられ、より自律的にタスクを処理できる、よりエージェント的なシステムを開発することを目標としています<sup>3</sup>。同社はまた、AI プラットフォームにさらに高度なインテリジェンス機能を追加することにも投資する予定であり、その機能と特許専門家への価値提案をさらに強化します<sup>3</sup>。

## 5. 特許出願における AI の役割と実務家との連携

### 5.1 従来のプロセスの課題への対応

従来の特許出願プロセスは、しばしば時代遅れで、高価で、時間がかかり、人的ミスが発生しやすいとされています<sup>1</sup>。知的財産弁護士は、以前の数十年間と比較して大幅に短縮された起草時間で、より迅速に特許出願を行うようプレッシャーが高まっています<sup>2</sup>。米国特許商標庁 (USPTO) のような特許庁における大幅なバックログは、これらの課題をさらに悪化させ、処理時間の長期化につながっています<sup>3</sup>。DeepIP の AI アシスタントは、特許の起草および審査プロセスのさまざまな段階を自動化および効率化することで、これらの課題に直接的に対応し、効率を向上させ、特許実務家の負担を軽減することを目指しています。

### 5.2 AI は代替ではなく、能力を増強するツール

DeepIP は、その AI アシスタントを、人間の特許実務家の能力を代替するのではなく、増強するために設計されたツールとして明確に位置づけています<sup>1</sup>。その焦点は、知的財産専門家の効率とスピードを高め、より短い時間でより多くのことを達成できるようにす

ることです<sup>1</sup>。よりルーチンで退屈なタスクを処理することで、AI は弁護士がより高度な戦略的思考、複雑な法的分析、およびクライアントとの関係育成に集中するための貴重な時間を解放します<sup>17</sup>。この協調的なアプローチは、人間の専門知識と判断が不可欠な法律専門職において、AI の信頼を育み、採用を促進するために不可欠です。

### 5.3 ワークフローにおける AI アシスタントの具体的な応用

DeepIP の AI アシスタントは、特許ワークフローのいくつかの主要な段階でサポートを提供します。特許準備段階では、複雑な技術的発明を要約することで支援し、実務家が迅速に核心的な概念を把握できるようにします<sup>17</sup>。起草段階では、白紙の状態から始めることを避け、特許請求の範囲と詳細な説明を作成する際に創造性を発揮するための提案と構造を提供します<sup>14</sup>。AI はまた、反復とレビューのプロセスを容易にし、特許文書のより簡単な改良を可能にします<sup>14</sup>。特許庁からの拒絶理由通知に対応する際、DeepIP は実務家が異議申し立ての性質を理解し、それを克服するための潜在的な議論と修正を提案するのを支援します<sup>14</sup>。さらに、過去の特許出願を分析することで、AI は発明の新規性を確保し、既存の特許との潜在的な問題や矛盾を特定するのに役立ちます<sup>1</sup>。

### 5.4 効率と品質への影響

DeepIP は、その AI アシスタントが特許出願の起草にかかる時間を最大 50%削減できると主張しています<sup>1</sup>。この大幅な効率向上は、IP 事務所全体の生産性向上につながり、要求の厳しい仕事量に関連するプレッシャーを軽減することで、人材の定着率向上に貢献する可能性があります<sup>2</sup>。さらに、特許プロセスにおける AI の利用は、より堅牢で潜在的な異議申し立てに対してより防御力の高い、より高品質な特許につながると報告されています<sup>2</sup>。DeepIP のツールは、起草プロセスの特定の部分を自動化し、インテリジェントな提案を提供することで、法律専門家が 1 日あたり約 2 時間の作業時間を節約し、より戦略的で複雑なタスクに集中できるようにします<sup>2</sup>。

## 6. 競合分析：AI 特許アシスタントの状況

### 6.1 直接的な競合他社

特許の起草と審査のための AI 搭載ツールの分野は、ますます競争が激化しています。他のいくつかの企業も、人工知能を活用して特許プロセスのさまざまな側面を効率化しています。調査で特定された DeepIP の直接的な競合他社には、Solve Intelligence (Patent Copilot)、Patent Bots、ClaimMaster、Edge (旧 Drift Bio)、PatentPal、Patent Theory、Black Hills AI (DeepIP のパートナーですが、特定の分野で競合するサービスも提供しています) などがあります<sup>19</sup>。この分野の他のプレーヤーには、Vaero、Specifio、Paximal などがあります<sup>21</sup>。これらのツール間の比較は、さまざまな強みと焦

点を示しています。たとえば、Solve Intelligence の Patent Copilot は、特許の起草、審査、発明開示の提出を網羅する包括的な機能範囲で知られています<sup>20</sup>。Patent Bots は、文書のレビューと分析に優れており、特許審査官と USPTO のアートユニットに関する貴重な統計情報を提供しています<sup>20</sup>。ClaimMaster は、申請のレビューと、特許専門家にとってより単純でありながら面倒なタスクの自動化に焦点を当てています<sup>20</sup>。Edge は、発明開示の作成と特許出願の起草を専門としています<sup>20</sup>。PatentPal は、特許請求の範囲から説明と図面を自動生成するための言語技術を構築しています<sup>22</sup>。Patent Theory は、自然言語生成と自動特許起草を組み合わせています<sup>22</sup>。Black Hills AI は、特に USPTO の拒絶理由通知に対する応答の提案において、強力な文書レビューおよび分析機能で知られています<sup>20</sup>。

## 6.2 より広範なリーガルテック AI ソリューション

AI 特許アシスタントの専門分野を超えて、より広範なリーガルテック分野では、強力な AI プラットフォームが登場しています。注目すべき例の 1 つは Harvey であり、大きな注目と資金を集め、リーガルテック分野のディスラプターとしての地位を確立しています<sup>2</sup>。Harvey の焦点は特許法を超えて、より広範な法的タスクを網羅していますが、その成功と多額の投資は、法律業界全体で AI 駆動型ソリューションに対する需要が高まっていることを示しています。この広範な傾向は、DeepIP が現在よりニッチな市場で事業を展開している一方で、より包括的な AI プラットフォームが知的財産にその機能を拡大するにつれて、最終的には競争に直面する可能性があることを示唆しています。

## 6.3 DeepIP の差別化

競争が激化しているにもかかわらず、DeepIP にはいくつかの重要な差別化要因があります。大きな利点の 1 つは、特許弁護士が文書作成に広く使用しているプラットフォームである Microsoft Word に直接シームレスに統合されていることです<sup>1</sup>。この統合により、既存のワークフローへの混乱が最小限に抑えられ、AI ツールの導入が容易になります。もう 1 つのユニークな機能は、DeepIP が過去の特許出願を分析し、実務家とそのクライアントの個々の書き方を学習し、これらのスタイルを再現して一貫性を維持し、特定の要件を満たすことができることです<sup>1</sup>。DeepIP はまた、弁護士を置き換えることを目指すのではなく、弁護士と協力して作業するアシスタントとしての役割を強調しており、これは法律専門職内で受け入れられるための重要な要素となる可能性があります<sup>1</sup>。さらに、同社の年間経常収益 (ARR) の急速な初期成長は、強力な製品市場適合性を示しており、そのアプローチがターゲットオーディエンスにうまく響いていることを示唆しています<sup>1</sup>。

## AI 特許起草ツールの比較表

機能	DeepIP	Solve Intelligence Patent Copilot	Patent Bots	ClaimMaster	Edge	PatentPal	Patent Theory
AI 起草能力	要約、専門用語の簡略化、新規性の強調、欠落の特定、請求項の構造提案、文体再現	完全な申請書起草、図面生成・編集、化学構造、表形式データ	高度なAI 起草機能は限定的	高度なAI 起草機能は限定的、定型文の組み込み	発明開示の作成、特許出願の起草、ユーザーによるカスタマイズ	請求項から説明と図面を生成、カスタマイズ可能なフレーズ	自然言語生成、自動起草、カスタマイズ可能なテンプレート
ソフトウェア統合	Microsoft Word アドイン	不明	特許庁との統合	Microsoft Word アドイン	不明	不明	不明
焦点	起草、準備、審査	起草、審査、発明開示	文書レビューと分析、審査官の統計	申請レビュー、単純なタスクの自動化	発明開示、特許出願の起草	特許起草	特許起草
独自のセールスポイント	シームレスな Word 統合、文体再現、強力なセキュリティ	最も包括的な機能	文書レビューと審査官の統計	申請レビュー、定型文の組み込み	発明開示に特化	請求項から説明と図面を生成	高いセキュリティ、ユーザー制御のテンプレート

## 7. 特許業界と AI：現在の導入状況と将来展望

### 7.1 特許業界における AI の現在の導入状況

より広範な法律分野では、法的調査、文書レビュー、契約分析など、さまざまなタスクに人工知能を採用する傾向がすでに高まっています<sup>3</sup>。Harvey のようなプラットフォームが登場し、この分野における AI の破壊的な可能性を示しています<sup>2</sup>。特許業界のより具体的な分野では、AI はいくつかの主要な分野でますます利用されています。AI 駆動型ツールは、特許検索と先行技術調査の方法を変革しており、より効率的で包括的な関連情報の特定を可能にしています<sup>25</sup>。特許分析プラットフォームは、AI を活用して、ポートフォリオ管理、競合インテリジェンス、および新たな技術トレンドの特定のための洞察を提供しています<sup>25</sup>。特許審査では、AI は、拒絶理由通知への対応の起草や、特許付与の可能性の予測などのタスクを支援しています<sup>25</sup>。USPTO などの特許庁でさえ、効率と品質を向上させるために、審査プロセスに AI を取り入れ始めています<sup>26</sup>。

### 7.2 将来のトレンドと可能性

特許業界における AI の将来は、継続的な進歩と、既存のツールへのより高度な機能の統合によって特徴づけられると予想されます<sup>33</sup>。AI は、単純な生産性アシスタントから、より広範なタスクを自律的に処理できる、より自律的な「エージェント型」システムへと進化する明確な傾向があります<sup>3</sup>。この分野における AI の潜在的な応用は広大であり、訴訟支援、詳細な IP ポートフォリオ分析、スマートな審査戦略の開発、発明者と法務チーム間のリアルタイムコラボレーションの促進などの分野にまで及んでいます<sup>9</sup>。AI 技術がますます複雑になるにつれて、特許保護において新たな課題と機会の両方が生じ、その発明的な側面を微妙に理解する必要があります<sup>25</sup>。AI 駆動型プロセスの透明性と進化する規制要件への準拠の必要性から、説明可能な AI (XAI) の重要性も高まります<sup>25</sup>。AI 関連の特許出願数は、この分野におけるイノベーションの増加を反映して、引き続き増加傾向にあると予想されます<sup>34</sup>。最終的に、AI は特許プロセス全体を大幅に効率化し、現在のバックログを削減し、特許付与までの時間を短縮する可能性があり<sup>26</sup>、特許出願の品質と精度全体の向上にも貢献します<sup>38</sup>。

### 7.3 課題と考慮事項

数多くの利点にもかかわらず、特許業界における AI の採用の増加は、いくつかの課題と考慮事項も提示しています。AI の発明者性に関する倫理的な問題や、AI が生成した特許における偏見の可能性には、注意深い検討が必要です<sup>26</sup>。AI 駆動型発明の意思決定プロセスにおける透明性と説明責任を確保することも、特許制度の完全性を維持するために不可欠です<sup>25</sup>。AI を使用して特許出願を容易に生成できることは、過剰な特許取得のリスクに関する懸念を高め、イノベーションを阻害する可能性のある重複する特許の密集した

網を形成する可能性があります<sup>26</sup>。また、AI が適切に使用されない場合、特許の範囲と執行力を弱める可能性のある、あまりにも一般的または広すぎる特許草案を作成するリスクもあります<sup>39</sup>。人間の監督と特許専門家の専門知識が特許プロセスの中心であり続け、AI ツールの使用を導き、戦略的な意思決定を保証することが最も重要です<sup>2</sup>。さらに、特許法自体も、AI ツールによって提供される急速に進化する能力に適応し、イノベーションを保護する上での関連性と有効性を維持する必要があります<sup>40</sup>。

## 8. DeepIP の公式チャンネルからの洞察

### 8.1 DeepIP ウェブサイトの概要

DeepIP の公式サイト (<https://www.deepip.ai/>) は、特許専門家がより良い特許をより効率的に起草するのを支援するために特別に設計された AI 搭載特許アシスタントを提供している企業として位置づけられています<sup>17</sup>。このウェブサイトでは、特許準備、起草支援、反復とレビュー、拒絶理由通知への対応など、特許プロセスのさまざまな段階に合わせたソリューションが強調されています<sup>17</sup>。DeepIP は、プラットフォームを使用することの主な利点として、ユーザーがより価値の高いタスクに時間を再配分できること、同じリソースでより多くのことを達成できること、生産性と収益性に即座にプラスの影響を与えることができることを強調しています<sup>17</sup>。同社は、発明に対する最高のセキュリティ基準の維持を強く重視しており、ISO 27001、GDPR、SOC2 Type II などの認証を強調しています<sup>17</sup>。満足したクライアントからの推薦文が目立つように掲載されており、DeepIP チームの対応力とサポート、ツールのシームレスな統合、出力の質の高さ、および堅牢なセキュリティ対策が称賛されています<sup>17</sup>。ウェブサイトには、ブログ、事例研究、メディア報道、今後のイベントに関する情報、ウェビナーへのアクセスを提供する包括的なリソースセクションも含まれています<sup>17</sup>。FAQ セクションでは、DeepIP の機能、対象ユーザー（特許実務家）、データプライバシーとセキュリティプロトコル、サポートされているドキュメント形式、使いやすさ、およびさまざまな種類の特許に対する有効性に関する一般的な質問に回答しています<sup>17</sup>。AI アシスタントと Microsoft Word のシームレスな統合は、主要な機能として一貫して強調されています<sup>17</sup>。

### 8.2 本社の情報

DeepIP の公式サイトおよびプライバシーポリシーで入手可能な情報は、ニューヨーク市に北米本社、パリにヨーロッパ本社を置く二重本社体制を確認しています<sup>2</sup>。プライバシーポリシーには、北米本社の具体的な住所として、1411 Broadway, 16th floor, New York, NY 10018 が記載されています<sup>13</sup>。さまざまな公式情報源でこの情報が一貫していることは、同社がこれらの主要な地理的拠点に確立された存在感を示していることを裏付けています。

## 9. ユーザーレビューと推薦文

### 9.1 DeepIP ウェブサイトの推薦文

DeepIP のウェブサイト (<https://www.deepip.ai/>) に掲載されている推薦文は、さまざまな知的財産法律事務所のリーダーシップの立場にある個人からの肯定的なフィードバックを提供しています<sup>17</sup>。Guntin & Gust, PLC の社長兼マネージングパートナーであるエド・ガンティン氏は、DeepIP チームの対応力とサポートを称賛し、フィードバックを統合する意欲と協力的なアプローチを指摘しました<sup>17</sup>。Wood IP のマネージングパートナーであるテッド・ウッド氏は、DeepIP が退屈なタスクを処理する能力を強調し、弁護士が請求項や実施可能要件などの重要な側面にさらに時間を費やすことができるようにしました<sup>17</sup>。Schwegman, Lundberg & Woessner の創設パートナー、プリンシパル兼チーフインベションオフィサーであるスティーブ・ルンドバーグ氏は、Microsoft Word アドインによるツールの柔軟性とワークフローへのシームレスな統合を強調しました<sup>17</sup>。

Shumaker & Sieffert の執行委員会メンバーであるマット・エヴァンス氏は、DeepIP が Word 統合、出力品質、インタラクティブな生成、および組織全体で共有可能なカスタムジョブを作成する機能により、最終候補に残った 5 つのツールの中で際立っていたと述べました<sup>17</sup>。Schwegman, Lundberg & Woessner のプリンシパル兼登録特許弁護士であるアンドレ・マレー氏は、特に米国を拠点とする Microsoft Azure サーバーへの展開、SOC II Type 2 および ISO 27001 認証を含む DeepIP のセキュリティインフラストラクチャを称賛し、これらが同社の厳格なクライアントデータ保護要件を満たしていると述べました<sup>17</sup>。

### 9.2 メディア報道からの引用

DeepIP の最近の資金調達ラウンドに関するメディア報道にも、ユーザーからの肯定的なフィードバックが含まれています。ある顧客は、「もし会社がこれを買ってくれなければ、自分で買うと言う同僚がすでに 5 人いる」と述べています<sup>2</sup>。この強い発言は、ユーザーが DeepIP の AI アシスタントに経験している高い満足度と認識されている価値を強調しています。DeepIP の投資家の 1 人である Headline のジェネラルパートナーであるジョナサン・ユセロヴィッチ氏は、知的財産実務家が DeepIP を試すと、それなしでは仕事をしたくないほど依存するようになると指摘し、ツールの有効性とそれが提供する大きな利点をさらに強調しました<sup>1</sup>。

### 9.3 独立したユーザーレビューの欠如

推薦文やメディア報道からの引用は圧倒的に肯定的ですが、調査資料では、サードパーティのプラットフォームやフォーラムでの独立したユーザーレビューの存在は明らかにされていません<sup>24</sup>。レビューが混在している 1 つのスニペットに「Deepop」という言及があ

りますが、これはヴィンテージおよびデザイナーアイテムに焦点を当てているため、別の会社を指している可能性が高いです<sup>44</sup>。独立したレビューがないため、DeepIP の公式チャンネルやプレスリリース以外の場所に存在する可能性のあるレビューについて、完全に包括的で偏りのない視点を得る能力が制限されます。そのようなレビューが存在するかどうかを明らかにするためには、さらなる調査が必要かもしれません。

## 10. 結論

DeepIP は、特許業界における AI の変革の可能性について説得力のある事例を示しています。エンタープライズレベルの AI ソリューション開発で実績のある強力なリーダーシップチームに支えられた同社の革新的な AI 特許アシスタントは、急速な ARR 成長と最近の 1500 万ドルのシリーズ A 資金調達ラウンドによって証明されるように、初期段階で大きな牽引力を得ています。DeepIP の主な利点には、広く使用されている Microsoft Word プラットフォームへのシームレスな統合、効率を高め、特許出願の品質を向上させるように設計された高度な AI 搭載機能、およびデータセキュリティとコンプライアンスへの強いコミットメントが含まれます。

特許実務家向けの AI 搭載リーガルテックソリューションの競争が激化する状況の中で、DeepIP は、人間を置き換えるのではなく、人間の能力を増強することに焦点を当てたユーザー中心のアプローチと、個々の実務家とそのクライアントの書き方を学習して再現する独自の能力によって差別化されています。同社の急速な初期の成功と、その投資家の質の高さは、そのビジョンと実行に対する強い信念を示しています。

今後、DeepIP は特許業界における AI 駆動型ソリューションに対する需要の高まりを利用する態勢を整えています。最近の資金調達を事業拡大と AI 機能のさらなる開発に充てる計画は、有望な将来を示唆しています。ただし、この分野のすべてのプレーヤーと同様に、DeepIP は進化する競争環境を乗り切り、特許法への AI の統合の増加に関連する倫理的および法的考慮事項に対処する必要があります。全体として、DeepIP は特許出願プロセスを近代化し、高度な AI 搭載アシスタントで特許専門家を支援する大きな可能性を示しています。

## 引用文献

1. Frenco-American startup DeepIP, led by the ex-Kill Technology duo, scoops \$15M to bring patents to the age of AI - Tech Funding News, 3月 30, 2025 にアクセス、<https://techfundingnews.com/frenco-american-startup-deepip-led-by-the-ex-kill-technology-duo-scoops-15m-to-bring-patents-to-the-age-of-ai/>
2. ipwatchdog.com, 3月 30, 2025 にアクセス、<https://ipwatchdog.com/press/ai-deepip-raises-15m-harvey-patent-law/>

3. DeepIP Nabs \$15 Million To Make Patent Filing A Breeze With Its AI-Assistant, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://aimresearch.co/market-industry/deepip-nabs-15-million-to-make-patent-filing-a-breeze-with-its-ai-assistant>
4. DeepIP has developed an AI assistant for drafting patents. Check out the pitch deck it used to raise \$15 million. | Business Insider Africa, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://africa.businessinsider.com/news/deepip-has-developed-an-ai-assistant-for-drafting-patents-check-out-the-pitch-deck-it/d0v7jw0>
5. Franco-American startup DeepIP, led by the ex-Kill Technology duo, scoops \$15M to bring patents to the age of AI - Tech Funding News, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://techfundingnews.com/franco-american-startup-deepip-led-by-the-ex-kill-technology-duo-scoops-15m-to-bring-patents-to-the-age-of-ai/>
6. AI Patent Startup DeepIP Closes \$15M Series A Round - TechNews180, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://technews180.com/funding-news/ai-patent-startup-deepip-closes-15m-series-a-round/>
7. DeepIP Nabs \$15 Million To Make Patent Filing A Breeze With Its AI-Assistant, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://aimresearch.co/market-industry/deepip-nabs-15-million-to-make-patent-filing-a-breeze-with-its-ai-assistant>
8. DeepIP Raises \$15M in Series A Funding - FinSMEs, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://www.finsmes.com/2025/03/deepip-raises-15m-in-series-a-funding.html>
9. DeepIP Raises \$15M to Streamline Patent Drafting with AI Assistant Embedded in Microsoft Word - CTOL Digital Solutions, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://www.ctol.digital/news/deepip-raises-15m-to-streamline-patent-drafting-with-ai-assistant/>
10. AI patent startup DeepIP secures \$15 million with this pitch deck - BestofAI, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://bestofai.com/article/ai-patent-startup-deepip-secures-15-million-with-this-pitch-deck>
11. Davinci Becomes DeepIP and Announces the General Availability of its First Patent AI Copilot Fully Integrated with Microsoft Word - Business Wire, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://www.businesswire.com/news/home/20240808138868/en/Davinci-Becomes-DeepIP-and-Announces-the-General-Availability-of-its-First-Patent-AI-Copilot-Fully-Integrated-with-Microsoft-Word>
12. DeepIP 2025 Company Profile: Valuation, Funding & Investors | PitchBook, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://pitchbook.com/profiles/company/591225-49>
13. Privacy Policy - DeepIP, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://www.deepip.ai/privacy-policy>
14. DeepIP | Legaltech Hub, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://www.legaltechnologyhub.com/vendors/deepip/>
15. NYC and Paris-based startup DeepIP raises \$15m to bring patents to the age of AI, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://www.startup-weekly.com/NYC-and-Paris-based-startup-DeepIP-raises-15m-to-bring-patents-to-the-age-of-AI/>
16. DeepIP nabs \$15M to modernise patent filing for the AI age - Tech.eu, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://tech.eu/2025/03/27/deepip-nabs-15m-to-modernise-patent->

[filing-for-the-ai-age/](#)

17. DeepIP - Better &Faster Patents with Gen AI, 3 月 30, 2025 にアクセス、  
<https://www.deepip.ai>
18. In other news this week: Utrecht's Amigos bags €2.5M, &more - Silicon Canals, 3 月 30, 2025 にアクセス、  
<https://siliconcanals.com/in-other-news-this-week-33/>
19. Top 10 Solve Intelligence Patent Copilot Alternatives &Competitors in 2025 | G2, 3 月 30, 2025 にアクセス、  
<https://www.g2.com/products/solve-intelligence-patent-copilot/competitors/alternatives>
20. Best 6 AIPatent Drafting Tools in 2024 | Solve Intelligence, 3 月 30, 2025 にアクセス、  
<https://www.solveintelligence.com/blog/post/best-ai-patent-drafting-tools>
21. Top Patent Bots Alternatives, Competitors - CB Insights, 3 月 30, 2025 にアクセス、  
<https://www.cbinsights.com/company/patent-bots/alternatives-competitors>
22. Best AIPatent Drafting Tools for Small Business - Slashdot, 3 月 30, 2025 にアクセス、  
<https://slashdot.org/software/ai-patent-drafting/f-small-business/>
23. Best Patent Theory Alternatives &Competitors - SourceForge, 3 月 30, 2025 にアクセス、  
<https://sourceforge.net/software/product/Patent-Theory/alternatives>
24. DeepIP Reviews in 2025 - SourceForge, 3 月 30, 2025 にアクセス、  
<https://sourceforge.net/software/product/DeepIP/>
25. The Future of AIPatents Trends and Predictions | PatentPC, 3 月 30, 2025 にアクセス、  
<https://patentpc.com/blog/the-future-of-ai-patents-trends-and-predictions>
26. The future of AI and patents: ethical challenges and opportunities | Patsnap, 3 月 30, 2025 にアクセス、  
<https://www.patsnap.com/resources/blog/the-future-of-ai-patents-ethical-challenges-and-opportunities/>
27. The Future of Patent Intelligence Tools: How AI is Revolutionizing the Landscape - DrugPatentWatch – Make Better Decisions, 3 月 30, 2025 にアクセス、  
<https://www.drugpatentwatch.com/blog/the-future-of-patent-intelligence-tools-how-ai-is-revolutionizing-the-landscape/>
28. How AI-powered IP intelligence is reshaping patent strategy - Patsnap, 3 月 30, 2025 にアクセス、  
<https://www.patsnap.com/resources/blog/ai-powered-ip-intelligence-is-reshaping-patent-strategy/>
29. Patsnap Analytics - Domain-specific AI purpose built for IP, 3 月 30, 2025 にアクセス、  
<https://www.patsnap.com/products/analytics>
30. The Double-Edged Sword of AI in Patent Drafting and Prosecution | AILaw and Policy, 3 月 30, 2025 にアクセス、  
<https://www.ailawandpolicy.com/2024/10/the-double-edged-sword-of-ai-in-patent-drafting-and-prosecution/>
31. The Future of Patent Prosecution: AI as a Game Changer - XLSCOUT, 3 月 30, 2025 にアクセス、  
<https://xlscout.ai/the-future-of-patent-prosecution-ai-as-a-game-changer/>
32. The Transformative Impact of AI on Patent Prior Art Searches | Insights | Ropes & Gray LLP, 3 月 30, 2025 にアクセス、  
<https://www.ropesgray.com/en/insights/alerts/2024/08/the-transformative-impact-of-ai-on-patent-prior-art-searches>

33. Best AI Tools for Patent Attorneys 2025 | Solve Intelligence, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://www.solveintelligence.com/blog/post/ai-patent-tools>
34. 2025 Patent Trends: Challenges and Innovations Shaping the Future of Technology - IP.com, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://ip.com/blog/2025-patent-trends-challenges-and-innovations-shaping-the-future-of-technology/>
35. Recent Trends in AI Patents 2024 Update - PatentPC, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://patentpc.com/blog/recent-trends-in-ai-patents-2024-update>
36. Generative AI Patent Application Filings | Growth Trend - PatentNext, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://www.patentnext.com/2024/12/generative-artificial-intelligence-ai-patent-application-filings-see-early-growth-trend-at-the-uspto/>
37. The Future of AI Patents, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://novotechip.com/2024/07/26/ai-patents/>
38. The Impact of AI on Patent Drafting Practices - PatentPC, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://patentpc.com/blog/the-impact-of-ai-on-patent-drafting-practices>
39. The Practical Risks and Benefits of Using Generative AI for Patent Drafting, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://hselaw.com/news-and-information/in-the-news/the-practical-risks-and-benefits-of-using-generative-ai-for-patent-drafting/>
40. AI and the Level of Ordinary Skill: Why Patent Law Must (and Can) Adapt to AI-Augmented Invention - IP Watchdog, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://ipwatchdog.com/2025/01/07/ai-level-ordinary-skill-patent-law-must-can-adapt-ai-augmented-invention/id=184822/>
41. DeepIP - Better & Faster Patents with Gen AI, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://deepip.ai/>
42. AI Patent Drafting Tool | Streamline Your Workflow - DeepIP, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://www.deepip.ai/products/patent-drafting>
43. Black Hills AI and DeepIP Announce Strategic Integration Partnership - Business Wire, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://www.businesswire.com/news/home/20241021725475/en/Black-Hills-AI-and-DeepIP-Announce-Strategic-Integration-Partnership>
44. Depop Review - How Is It For Sellers? - YouTube, 3 月 30, 2025 にアクセス、 <https://www.youtube.com/watch?v=V6MSjZ8AO5I>